

# 新春の大山詣：今年も元気で歩けますように！

斉藤 整紀

## ●始めに

年初の山行として、富士山と同様、江戸庶民に親しまれた大山詣を選んだ。御朱印狙いである。まず大山山頂の御朱印をいただき、次に富士山山頂のを頂くのを目標する。

●2020年1月4日(土) 晴れのち曇り

●メンバー 斉藤 整紀(単独)

●コースタイム

伊勢原駅(バス) 11:00⇒大山バス停 11:30→大山寺 12:00→阿夫利神社下社 12:30→富士見台→大山山頂・阿夫利神社本殿 14:00→下社 15:00→大山バス停 16:00(バス) 16:20⇒伊勢原駅 17:00

年末年始の暴飲暴食で傷んだ体の立て直しのため、大山山行に臨む。これは今年の富士山浅間神社の御朱印の前哨戦にも通じる。

今日は、朝の好天から徐々に天気は悪化の予報である。案の定、朝は晴れ渡っていた空が、小田急車窓からは、雲が目立ってきた。

伊勢原駅には、初詣を兼ねた、老若男女が集い、バスは混んでいる。バス停に着いてからは、いつもと違って、ケーブル乗り場へ向かう人が多い。まず女坂を通過して、大山寺へ向かう。徐々に高度を上げていくと、真言宗の読経が聞こえて、社殿が姿を現す。大山寺は真言宗大覚寺派とのこと。先ほど聞こえた読経は、厄年などのお祓いの様で、数多の人々が厄払いの申込みに並んでいる。御朱印は相場の300円より百円高いが、「大山鐵不動」と書かれた立派なものであった。長く急な石段の上の小さな境内ながら、それなりの賑わいであった。そこから、やや不安定な石段を上ると、華やかで綺麗な様相の阿夫利神社下社への石段が現れる。途中、ケーブルカーからの人々も加わり賑わいが増す。やはり下社本殿に着くと行列が出来ている。また御朱印もそこそこ混んでいる。

そのあと相模湾の景色を眺めながら、土産物屋で買ってきた300円のミカンと持参のお菓子で一息入れた。境内には様々な願い、思いを持った人々で溢れている。やがて100円のお祓い料を入れて、長い急な石段を登って山頂を目指す。他に若い家族やカップルで登山をするものは結構いる。昨日の箱根駅伝で綺麗だった富士山は、今日は様変わり、雲で覆われ、富士見台で少し覗いただけである。大山山頂は曇りで風も冷たく、パーナールを出す気にもなれない。山頂の「御朱印受付」に行くと、「神主不在につき下社で」と書かれている。

今日は、管理係の島崎氏には、下山は、ヤビツ峠、蓑毛ルートと伝えたが、ここは、下社へ戻るしかない。15時到着目標に急いだ。上るのは身軽にヒョイヒョイ進んでいた小さい子供も、下りは少々難しく、詰まっている。丁度、午後3時ころ下社に着き、山頂の御朱印を頂いた。丁度、相模湾に夕日が差して、明るく輝いている。

あとは、下山あるのみ。男坂に差し掛かった頃、雨が落ちて来た。濡れた急な石段は要注意！特に丸石を不安定に積んだ箇所は要注意である。何とか雨の酷くならないうちに男坂を降りきり、バスの人となった。湿ったダウンと雨を吸った百名山帽子を身に着け、無事帰宅の途に着いた。今年も元気で歩けますように！（了）

